

企画展

「古代エジプト ファラオと民の歴史—東海大学のエジプトコレクション—」

展示および内覧会のご案内



ホルス神の眼を捧持するヒヒ像
末期王朝時代～プトレマイオス朝
時代初期
(紀元前 664 年～285 年頃)

東海大学のエジプトコレクションは、日本におけるエジプト学のパイオニア、故鈴木八司東海大学名誉教授が、長年の研究活動の中で収集されたもので、2010年に東海大学に寄贈されました。

本展覧会では、東海大学のエジプトコレクションから初公開資料を含めた約200点を通し、ファラオのもとで暮らした古代エジプトの人びとの営みとその精神性に迫ります。あわせて東海大学が進めているコレクションの修復保存や写真のデジタル・アーカイブ化、同大学情報技術センターによる衛星データを用いた考古学調査の取り組みを紹介します。

1 企画展 内覧会

開催日	平成27年1月30日(金)
時間	午後4時から
主催	横浜ユーラシア文化館・東海大学
会場	横浜ユーラシア文化館・横浜都市発展記念館
出席者	山田清志 東海大学学長 岡田優子 横浜市教育委員会教育長 五味文彦 (公財)横浜市ふるさと歴史財団理事長 他

※ 当日取材される場合は、15時50分までに1階受付にお越しください。

展覧会の見どころ

① 古代エジプト人の衣食住に迫る！

古代エジプトの歴史の表舞台に立つファラオ（王）たちを支えたのは数多くの民の存在です。本展では、人々が用いたサンダルや化粧道具、死者に供える供物卓などを通して、古エジプトの民の精神性に迫ります。



ワイン等を保管するための甕
初期王朝時代(紀元前 3000-2700 年頃)



化粧用顔料を入れた小皿
新王国時代
(紀元前 1550-1070 年頃)



サンダル
新王国時代末期以降
(紀元前 1200 年頃以降)



人形棺蓋片
第3中間期(紀元前 1070-667 年頃)



死者に供える供物が浮き彫りされた台
新王国時代末期
(紀元前 1292-1070 年頃)



タウエレットのウシャブティ
新王国時代末期
(紀元前 1292-1070 年頃)

② ナポレオンの『エジプト誌』初版本（1809～1828 年刊行）を展示！

ナポレオンのエジプト遠征（1798～1801 年）に同行したのは軍隊だけでなく、博物学者、画家、技術者、測量技師など 175 名にのびりました。彼らによる調査・研究の成果をまとめたものが、この初版本『エジプト誌』。見開きで約 115 cm×75 cm という超大型図版は、すべて銅版画で手刷り彩色されています。展示される機会の少ない『エジプト誌』、是非ご覧下さい。



『エジプト誌』第5巻図版 11

東海大学附属図書館蔵

③ 日本で初めてのパピルス修復を紹介！

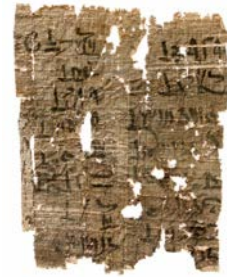
東海大学では、所蔵されるパピルス文書約 400 片の修復保存のプロジェクトが進められ、学生達もその作業に携わっています。本展では、修復保存が完了したパピルス文書 4 点を展示。合わせて、学生ボランティアによる現代のパピルスを使った修復作業のワークショップも行います。

パピルス修復体験

開催日：2月7日（土）、8日（日）、11日（水・祝）、14日（土）、21日（土）、28日（土）、3月8日（日）、28日（土）、4月5日（日）各日11時～（60分程度）

会場：1階図書コーナー

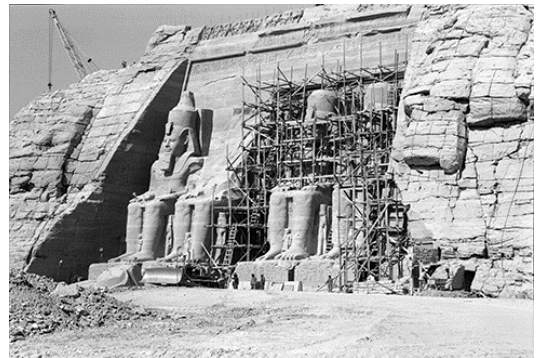
参加費：無料（先着6名様まで）



修復保存されたパピルス文書
現在、解読作業が進められている。
新王国時代末期（紀元前 1292-1070 年頃）

④ アブ・シンベル神殿の救済方法を知る！

コレクション寄贈者である故鈴木八司東海大学名誉教授は、1960年代のユネスコによるヌビア水没遺跡救済キャンペーンに参加した唯一の日本人であり、日本におけるエジプト学研究的先駆者です。コレクションの中には、古代エジプト関連の資料だけでなく、調査時に撮影した貴重な写真も多数含まれます。本展では、特に世界遺産創設のきっかけとなったアブ・シンベル神殿の移築工事の様子や当時のヌビアの風景を写真でご紹介します。



アブ・シンベル神殿の移築工事の様子
東海大学所蔵「東海大学古代エジプト及び中近東コレクション」

1 開催期間

2015年1月31日（土）～4月5日（日）開館日数56日

休館日：毎週月曜日

2 展示構成

第I章 古代エジプト一人々の生活と祈り

- 1 来世への願い—あの世で再び生まれ変わるために
- 2 「永遠に生きよ！」—古代の食生活
- 3 日常生活を彩るものたち
- 4 神・王・人の住処^{すみか}

特別展示 ナポレオンの『エジプト誌』

第II章 アブ・シンベル神殿とヌビア遺跡群—現代によみがえる古代ヌビア—

第III章 ローマ、コプトからイスラームへ

第IV章 東海大学 文化財への取り組み

- 1 エジプト画像のデジタル・アーカイブ化プロジェクト
- 2 日本で初めてのパピルス・プロジェクト！

特別展示 パピルスの世界

3 会場

横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室、2階常設展示室（一部）、1階

4 入館料

一般300円、小・中学生150円

5 共催・後援

共催 横浜市教育委員会

後援 エジプト大使館 (Embassy of Egypt)、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、日本経済新聞社
横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、NHK 横浜放送局、テレビ神奈川

6 関連事業

(1) 「東海大学と宇宙考古学」展【会場：1階ギャラリー】

(2) 写真展「エジプト学者鈴木八司のまなざし」【会場：1階旧第一玄関】

(3) ワークショップ（土・日曜日、祝日開催）【会場：1階図書コーナー】
ヒエログリフでしおり作り、クイズラリー、ぬり絵、古代エジプト衣装の試着など
砂絵、パピルス修復体験、エジプト絵本読み聞かせは日時限定。

(4) 「ベリーダンスの世界」（ベリーダンス公演と初心者対象の講座）
日時：2月22日（日）、3月22日（日） 各日午後2時～（1時間30分程度）
場所：情文プラザ（横浜情報文化センター1階）
講師：Izumi（Izumi Oriental Dance Studio 主宰）
定員：50名 参加費：1,000円（参加日はユーラシア文化館で徴収）
申込：事前申込制 往復ハガキまたはメール

(5) ギャラリートーク
2月1日（日）、2月15日（日）、3月1日（日）、3月29日（日） 14時開始（30分程度）

お問い合わせ先
横浜ユーラシア文化館 担当 竹田多麻子（展示）、神谷量子（広報） Tel 045-663-2424